

# 2023年度 授業公開デイ

## 授業公開対象科目の講義の内容について

### 11月3日(金) 2限目

**【経営学入門】 柿沼 英樹 (カキヌマ ヒデキ) 准教授 2216 大教室**

**対象学部 (履修開始年次) : 商学部・経済学部 (2年生)**

経営学の初学者を念頭に置いて、企業や経営についての基礎的知識や理論を解説する。具体的には、組織論、戦略論、企業論、マーケティングなどの、広い意味での「経営学」を構成する領域を取り上げ、教科書レベルの基本的な解説を行う。また、必要に応じて、若干の発展的内容や事例の紹介を加えていく。経営学の主要なことからを体系立てて学ぶことで、自分なりの経営学の見取り図を持つこと、さらには専門的な学びへの意欲を高めることを目指す。

**【日本語資格試験講座Ⅰ】 山本 晃彦 (ヤマモト アキヒコ) 特任准教授 3205 小教室**

**対象学部 (履修開始年次) : 全学部 (留学生) (1年生)**

この授業は、日本語能力試験N2レベルの言語知識 (文字・語彙・文法)、読解力、聴解力をつけることを目的とする。N2レベルの言語知識、読解力、聴解力は、社会で通用するコミュニケーション能力の土台となるものであり、大学の講義やゼミに対応することはもちろん、日本で就職し、活躍するために不可欠な力である。さらなるコミュニケーション能力の向上を目指すとともに、N2合格のための問題の解き方のテクニックについても併せて学習していく。

**【ビジネス文書実務/文章表現】 井上 幸 (イノウエ ミユキ) 特任准教授 5315 中教室**

**対象学部 (履修開始年次) : 全学部 (1年生)**

ビジネスのあらゆる場において、伝達的手段として文章が作成されている。ビジネスにおいて「書く」ことは仕事を進めるうえで必要不可欠であり、職業人としてのみならず社会生活全般で求められる基本的素養である。本講義では、仕事において必要な事務処理の基礎的能力を身に付けるためにビジネス文書作成について学ぶ。また、インターンシップや就職活動等で用いる文書や手紙、メールの作成についても触れる。ビジネス文書を作成するうえで必要な文章、文書用語、書式、関連知識について、様々な場面を想定して基礎から文書作成のより具体的な事例を学び、情報伝達のコミュニケーションとしてこれらを活用することができるようにする。

**【マーケティング・ケーススタディ】 後藤 こす恵 (ゴトウ コズエ) 准教授 6304 大教室**

**対象学部 (履修開始年次) : 商学部 (2年生)**

変化する消費者を捉えることは容易ではない。しかし、マーケティング分野の知識を活用すれば、ある一定の枠組みを持って現象を分析することができる。

本講義では、マーケティングの観点から様々な現象を分析できる力を養うために、マーケティングの基本的な考え方 (特にSTP、4P) について十分理解することを目指す。加えて、変化する消費者を捉え、新たな方策を立案できるようになるために、主体的に考え、課題を発見し、分析し、解決策を構想する機会を多く設ける。

**【リテールマネジメント概論】 梶田 真生（カジタ マサキ）専任講師****2110 中教室****対象学部（履修開始年次）： 商学部（2年生）**

この講義は、小売企業の存在意義や特徴、およびマネジメントの方法について学んでいきます。ケースと理論を組み合わせながら、1回1回の授業をまとまりのあるストーリーとして、小売のマネジメントを理解できるように進めていきます。また歴史的に重要なケースから最新のケースまでを取り扱い、小売マネジメントの「過去、現在、未来」を学びます。この講義は、他のリテールマネジメント関連科目の基礎になるという意味でとても重要です。そのため、皆さんがリテールマネジメントの知識を確実に増やすことに重点を置きます。

**11月3日(金) 3限目****【アジアビジネス論】 上田 義朗（ウエダ ヨシアキ）教授****6304 大教室****対象学部（履修開始年次）： 商学部（2年生）**

今日のアジアビジネスの経営環境は大きな変革時期にあります。その主要な論点は次のようです。

新型コロナ感染の世界的な拡大とウクライナ戦争を契機にして、①中国と米国の関係の悪化、③日韓関係の改善、③2018年のTPP11の発効、④ミャンマーの軍事政権の成立、⑤2022年のRCEP発効、⑥DXの進展、⑦EVの開発と導入、⑧脱炭素経済に移行、⑨LGBTQやジェンダー平等など人権意識の高揚。これらの諸要因が、日本を含むアジア諸国の企業経営に及ぼす影響を検討することが、本講義の主要な目的です。

本講義は、このようなアジア諸国の政治・社会・経済の情勢を「鳥の眼」から包括して把握し、企業経営レベルでは「虫の眼」から経営・ビジネスのノウハウや裏話を紹介し、これからのアジアビジネスの大きな動向（＝潮流）を「魚の眼」から検討したいと思います。

本講義の教材は、以下で紹介する独立行政法人「ジェトロ」・「アジア経済研究所」のネット情報です。だれもがいつでも閲覧できる教材を採用します。講義の方式は、対面講義が原則です。「予習」として参照するウェブサイトや YouTube を事前に提示し、それについて対面で解説や質疑応答することを目標にします。

グローバルな視野を実際に体得するために、日々変化する最新のジェトロやアジア経済研究所の資料やデータを使用します。実践的な企画や発想を実行できるようにするために、議論・質疑応答を重視します。

このような「ハイブリッド講義」の実践を体験・協力してくれる受講生を歓迎します。

なお、授業公開デイのために、これまでの復習を兼ねて、アジア情勢全体のお話しをしたいと思います。講義に出席の非受講者の皆さんにも有益な情報を提供したいと思います。多数のご参加を歓迎いたします。

**【観光産業論】 金 承珠（キム スンジュ）准教授****5314 中教室****対象学部（履修開始年次）： 人間社会学部（2年生）**

21世紀最大の成長産業と言われる観光産業は日本の基幹産業の一つでもある。

観光消費は、買い物、宿泊、飲食、交通、娯楽など観光関連産業だけでなく幅広い産業に波及しているため、観光産業による経済波及効果も非常に大きい。さらに、2020年5月に国連世界観光機構（UNWTO）が発表した『観光回復に向けた新型コロナウイルス感染症からの回復支援策』の中で、「旅行と観光を支援することは職と暮らしを支援するところに他ならない」と述べており、観光が地域に及ぼす影響は経済だけではなく社会的にも大きいと言える。

そのため本講義では地域における観光産業に関する基礎的な知識を修得するとともに観光産業の果たす役割と今後における観光産業のあり方についての理解することを目的とする。

**【経営戦略論B】 青木 良三（アオキ リョウソウ）教授****1213 大教室****対象学部（履修開始年次）： 商学部（2年生）**

- ・本講義の主題は、経営戦略論を学習するものにとって当然知っておくべき基本的知識を解説することにあります。理論のみならずケースも紹介しますので、実際のビジネス界の出来事も学習できる内容になっています。
- ・本講義では、経営戦略論のうち企業（全社）戦略について解説します。
- ・なお、事業（競争）戦略と機能別戦略については、経営戦略論Aで行います。
- ・本講義のレベルは、入門書レベルに一部中級レベルの話が加わります。経営戦略論Aよりは講義内容はむずかしいと思います。

**【国際経営論】 今西 珠美（イマニシ タマミ）教授****2216 大教室****対象学部（履修開始年次）： 商学部（2年生）**

主題：国境をまたいで活躍する多国籍企業の歴史・主要理論・経営の諸相について総合的に学びます。

概要：海外進出を図り複数の国々で事業を展開したり、外国企業と共同で事業を行ったりする企業は増えています。本科目ではこのような企業の国際経営活動に関する基本的知識を修得し、マーケティング、生産、研究開発、人的資源管理などの諸相における主要理論を理解します。将来、国際的な視野に立って社会に貢献できるような人材になるための能力を身につけます。

**【財務情報の読み方】 島田 奈美（シマダ ナミ）准教授****3102 中教室****対象学部（履修開始年次）： 商学部（3年生）**

これまで皆さんは、商業簿記や財務会計論などの科目を通じて、損益計算書や貸借対照表などの財務諸表の構造や、財務分析指標の計算の方法を学ばれてきたことでしょうか。しかし、実際の財務諸表を使ってその会社の状況を正しく把握できる自信のある人は少ないのではないのでしょうか。

本講義では、3つの財務諸表（貸借対照表・損益計算書・キャッシュフロー計算書）それぞれの役割と関係性を理解し、会計の全体像を捉える方法を学修したうえで、実際の財務諸表を読み解く実践を行います。実践を通じ多くの事例に触れることで、その会社の状況だけではなく、強みや戦略まで読み解けるようになりましょう。